

令和4年度北海道防災総合訓練（厳冬期）実施結果について

1 訓練日程等

- (1) 日時
 令和4年12月17日（土）午前9時00分から
 令和4年12月18日（日）午前9時00分までの間
- (2) 場所
 ○ 滝川西高校 : 避難所運営訓練
 ○ 道の駅たきかわ : 一時避難所開設・運営訓練、車中泊訓練
 ○ 滝の川公園 : 救出救助訓練

2 主催等

主催：北海道防災会議
 共催：滝川市

3 参加機関等

28機関 約320人
 道、滝川市、道内10市町、北海道防災会議構成機関、滝川消防、砂川消防、砂川市立病院、民間企業、住民（滝川市内自主防災組織、道の駅一般来場者）

4 訓練内容

- (1) 訓練想定
 厳冬期における大規模地震・雪害による（停電・断水、多重衝突事故）の発生
- (2) 訓練実施項目

項目	主な内容
■避難所開設訓練	○感染症対策を講じた早期の開設、避難者受入 ○女性や要配慮者等のためのゾーニング
■避難所運営訓練	○自主防災組織等住民参加による避難所運営 ○停電・断水への対応、低体温症の予防
■宿泊訓練	○段ボールベッド等の宿泊体験
■一時避難所開設・運営訓練	○道の駅を活用した一時避難所の設置・運営 ○駐車場における車中泊避難の受入、宿泊体験
■救出救助訓練	○多重衝突事故・立ち往生車両からの救出救助 ○低体温症等多数の要救助者への対処

- (3) 防災講話

日本赤十字北海道看護大学 根本昌宏教授	「厳冬期被災の課題と対策～低体温症～」 「厳冬期の車中泊における注意点」
札幌市立大学 鬼塚美玲講師	「厳冬期地震災害で私たちに起こりうること」 「女性等の視点による避難所の開設・運営」
芝浦工業大学 市川学准教授	「D24H 災害時保健福祉活動支援システム」

5 今後の対応等

- 多くの参加者に、厳冬期の避難所開設手順や避難所の生活、注意点等について体験してもらうことができた。
- 訓練の実施に際しては、新たに公用スマートフォンによるチャット機能を活用した通信連絡手段により、職員間の連携を図った。
- 現在、訓練参加機関による事後調査等を行っており、この結果等を踏まえた訓練評価を行い、厳冬期の防災対策の充実・強化に反映していく。